

薬史学会通信

No.36 2004年2月

〒113-0032

東京都文京区弥生2-4-16

(財)学会誌刊行センター内

日本薬史学会事務局

Phone (03) 3817-5821

FAX (03) 3817-5830

日本薬史学会 平成16('04)年度総会 講演会お知らせ

と き 2004年(平成16)年4月10日(土)午後

と ころ 東京大学薬学部記念講堂(文京区本郷)

11:30～ 評議員会(別途御案内)

13:30～ 総 会

14:00～ 総会講演(入場無料・来聴歓迎)

(1)「内藤記念くすり博物館の設立から今日まで」

内藤記念くすり博物館館長 篠田愛信

(2)「海洋に医薬資源を求めて」

大阪大学名誉教授 北川 勲

17:00～ 懇 親 会 於：東京大学山上会館(会費：4,000円)

主 催 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16
(財)学会誌刊行センター内 日本薬史学会事務局
電話 03-3817-5821、FAX 03-3817-5830

日 本 薬 史 学 会 会 費

前 納 お 願 い

一般会員：(年)5,000円

学生会員：(年)2,000円

振替口座 00120-3-67473 日本薬史学会

日本薬学会第124年会(大阪)薬史学関係ポスター発表

薬史学：3月29日(月)(14:00~17:00) [29【P2】II-258~267]

場 所：コスモスクエア国際交流センター、ATC、Cホール

- | | | | |
|--------------|---|--------------|---|
| 29【P2】II-258 | 星製薬株式会社幻のPR誌
○三澤美和(星薬大・薬理) | 29【P2】II-264 | 郊二、山田健二
「草木図説」の遺稿研究(第一報)CD化に成功した「江崎家草部稿本」にみる未収載植物 |
| 29【P2】II-259 | 近代日本医薬品産業の発展その19 日本製薬企業の製品情報概要の変遷-1960年代から2000年代-
○竹原潤(大日本製薬)、山田光男 | 29【P2】II-265 | ○田中俊弘(岐阜薬大)、酒井英二、水野瑞夫、遠藤正治、江崎孝三郎
江戸期馬医方本草に登場する生薬に関する研究(2) |
| 29【P2】II-260 | 医薬品添付文書の比較-1950年代と2000年代-(その3)
○五位野政彦(東京海道病院薬) | 29【P2】II-266 | ○市口幸治(生野高校)、林俊祐、畠山有里、松井桃子、乾真由美、宮本如奈、眞銅智之、畠山朋子、畠山光弘
江戸期馬医方本草に登場する生薬に関する研究 |
| 29【P2】II-261 | 日向薬事始(その1)
○岩井勝正(宮城県薬剤師会薬事情報セ)、井本真澄、山本郁男 | 29【P2】II-267 | ○白井一城(北陸大学薬学部薬学科)、市口幸治、林俊祐、畠山有里、乾真由美、松井桃子、宮本如奈、眞銅智之、畠山朋子、畠山光弘
ケニアの医療に関する史的考察 |
| 29【P2】II-262 | 平安時代の医療・医心方について
○塩原仁子(昭和大学薬学部)、富岡貢、伊田喜光 | | ○牧 純(北里大医微生物・寄生虫学)、久米光、桑田正広 |
| 29【P2】II-263 | 家伝薬「石田散薬」を検証する
○上村直樹(都薬北多摩支部)、寺澤雅治、椿孝治、松岡寛、志田保夫、伊奈 | | |

(発表者以外の所属は省略しました)

予告 日本薬史学会創立50周年記念会 日本薬史学会平成16年度年会

月 日：平成16年10月16日(土)午前10時~午後6時
年会に引き続き記念会を行います。

会 場：東京大学薬学部講堂(予定)

年会研究発表申込みについて

申 込 方 法：研究発表題、研究者氏名(講演発表者に○印)、住所を記した書類に、申込み受理返信用「郵便葉書」を添え、下記の申込み先に郵送下さい。(論文要旨記述用所定用紙などを送ります)

申込締切日：平成16年6月30日(水)(発表論文要旨提出は、平成16年9月30日(木)厳守)

申 込 先：〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16
(財)学会誌刊行センター内、日本薬史学会事務局